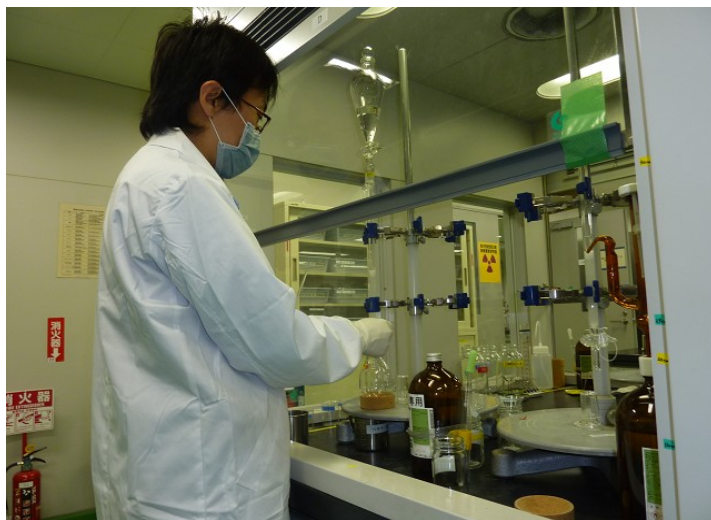


1. 豊田PCB廃棄物処理施設 分析室の役割

●分析室とは

豊田施設から払い出される処理物の卒業判定(処理物の無害化の完了を確認するための分析)や排気・作業環境中のPCB濃度の分析等を行うための部屋であり、当施設の6階にあります。

ここでは、20名の分析専門の担当者が24時間体制で分析を行っています。



●分析室での作業内容

PCBの分析には、複雑な分離抽出作業と専用の分析装置が必要です。当施設では、ガスクロマトグラフという分析装置7台とガスクロマトグラフ質量分析計という分析装置を3台使用して分析を行っています。

2. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況についてのご報告

平成25年7月の処理実績は右表のとおりです。
安全かつ確実な処理を継続していきます。

25年7月の処理台数

種 別		処理台数
コンデンサ類		667 台
トランス類	大 型	6 台
	小 型	12 台
	車 載 型	6 台
廃PCB等		14 本
保管容器		2 個

3. 豊田事業部会・監視委員会について

7月1日(月)に平成25年度第1回「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 豊田事業部会」、7月4日(木)に平成25年度第1回「豊田市PCB処理安全監視委員会」が行われました。

■事業部会

JESCOが主催し、学識経験者4名により構成

■監視委員会

豊田市が主催し、周辺自治区代表、周辺企業代表、公募市民、学識経験者の14名により構成



事業部会の様子

両会議において、本年3月に豊田市・環境省へ提出した改善計画書に記載の漏洩防止対策の実施状況、処理促進のための設備改造計画等を報告しました。いただいたご意見については、今後の改善対策や改造計画に活かしてまいります。

また、地元の皆様に豊田処理施設をより一層ご理解いただくため、隣接自治区にご参加いただく地域協議会の設置についても報告しました。



監視委員会の様子

4. 交通安全街頭活動を行いました

7月11日～20日の「夏の交通安全市民運動」期間中に行われた「全市一斉交通安全街頭活動」に参加しました。

JESCO、運転管理会社の社員約30名がのぼりやタスキ、ハンドサインなどを持ち、ドライバーに『安全運転』『シートベルトの着用』などを呼びかけました。

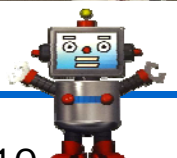


アザラシのピーちゃん

問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>



デジ丸